



西有家小学校だより 12号
校訓（勤労・勉学・大志）

学校教育目標 明るく心の美しい子ども

令和6年 2月 5日
南島原市立西有家小学校
TEL 73-6741
(文責 校長 大古場)



2月を逃がさず



1月がいつの間にか終わり、2月に入りました。「逃げ月」と言われる2月を簡単に逃がすことがないように、寒い中でも学習や運動にしっかりと取り組ませ、子どもたちにとって充実した2月としていきます。季節的には、インフルエンザ等の感染症対策を続ける必要がありますので、今後も「うがい、手洗い、消毒、換気、(マスク着用奨励)」など、子どもたちの健康面にも重点を置いて配慮を行っていきます。ご家庭での継続的なお声かけもよろしくお願いします。

寒さに負けない体や心や頭を鍛えよう

2月は旧暦で如月(きさらぎ)と呼ばれます。寒さで「更に重ねて着る」ことから「着更着(きさらぎ)」とする説もあり、寒さが一層厳しくなる季節です。朝、布団から出るのが億劫になり、できればもう少しゆっくり寝たい…と思う人も多いのではないのでしょうか。しかし、「子どもは、かぜの子」、そしてこんな季節だからこそ、体だけでなく様々な面を鍛えることができる時期だと思います。普段の学校生活でも鍛える場面は様々あります。



例えば、日々の授業で「最後までよく聞く耳」を鍛える、「丁寧に字を書く手」を鍛える、「よく考える頭」を鍛える、「物事に集中する心」を鍛える…等々。教科等以外でも学校では、当番や係活動、校外学習、学校行事等、友だちとの交流を通じて、心身の様々な面を鍛える場面がたくさんあります。学校で行うことは、勉強をはじめ決して楽しいことばかりではありません。得意なことや好きなことを伸ばすとともに、嫌なこと苦勞することにも取り組み続ける力も必要です。やさしく楽なことばかりの繰り返しでは、子どもは自分の可能性を十分に伸ばすことはできません。

剣豪の宮本武蔵が書いた五輪書の中では、「鍛錬」という言葉があります。「鍛錬」とは何年も長い期間、長い時間をかけ、自分の能力を限りなく伸ばし磨くものです。自分の夢をかなえ、目標を達成したいのなら、自分自身を鍛えなくてはなりません。ちなみに本年度の市学力テストの結果では、2年生以上の全ての学年で昨年度の学年としての成績を上回ることができました。これまでの鍛錬の成果であると思います。これからも子どもたちが「目の前の困難から逃げることなく、いつも挑戦する勇気と努力する姿勢」に惜しみない声援をおくる学校、家庭、地域であり続けたいと思います。「鍛えたところが強くなる。頭でも、体でも、心でも。」 相田みつをさんの言葉です。



避難訓練実施

2月2日(金)の中休みに抜き打ちの避難訓練を実施しました。子どもたちには予告なしで地震発生を想定した訓練でした。子どもたちは、突然の緊急放送にびっくりした様子でしたが、教室にいた子は机の下にかがんだり、外に出ていた子は頭上の安全を確認したりして第1次避難ができました。大きな揺れがおさまったところで、各自、それぞれの場所からの第2次避難開始です。子どもたちは、「あおかしも」「あわてない」「おさない」「かけない」「しゃべらない」「もどらない」を守って素早く運動場へ避難できました。その後、津波も発生したという想定で、みんなで校舎3階へ第3次避難を行いました。



今年の正月に能登半島付近で発生した大地震と津波は、石川県を中心に甚大な被害をもたらし、今もなお行方不明の方がおられます。災害は本当にいつ発生するかわかりません。普段からの備えが何よりも重要となります。ぜひ、ご家庭でもいざという時の対応をお子さんと確認していただきたいと思います。

今回は抜き打ちの訓練でしたが、中休みに校舎内外でそれぞれに遊んだり休んだりしていた子どもたちは、全員が3分程度で2次避難や3次避難を完了させることができ、これまでの訓練が生かされていたと思いました。毎年の避難訓練が、訓練のままで終わってくれることを心から願うばかりです。

※(裏面につづきます)

給食週間（1/24～1/30）～郷土料理も堪能～

全国学校給食週間中の1月26日にオンラインで給食集会を行いました。「南島原市学校給食センター」が稼働して2年が過ぎましたが、日々3500人分の給食が作られています。集会では、給食委員会の子どもによるクイズなどがありました。また学校栄養職員の話もありましたので、ご紹介します。



～橋本学校栄養職員の話～

みなさんが、普段何気なく言っている給食を食べる前の「いただきます」、食べ終わった後の「ごちそうさま」の意味を知っていますか？食べ物を食べるということは、動物や植物のいのちを頂いているということです。なので、「私（ぼく）たちのいのちのために、動物や植物のいのちをいただきます」という意味になります。

そして、「ごちそうさま」の「馳走」とは、中国の漢語で「馬で走り回る」という意味があります。昔は、今のように冷蔵庫もスーパーマーケットもありませんでした。だから、食材をそろえることはとても大変なことでした。

「ごちそうさま」の意味は、大切なお客さんを迎える時に、馬を走り回らせ食材を集めていたので、もてなすための料理のことを「ごちそう」というようになりました。そしていろいろと大変な思いをして、食事を準備してくれた方への感謝の気持ちをこめて「様」がつくようになり、食事のあとに、「ごちそうさま」とあいさつをするようになったのです。

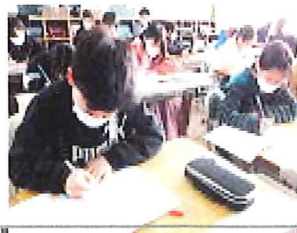
つまり、「ごちそうさま」には、生産者の方、お店屋さん、調理員さん、準備をしてくれた方へ「ありがとう」という気持ちがこめられています。食事の時は、「ありがとう」という感謝の気持ちを込めて「いただきます」と「ごちそうさま」のあいさつをしましょう。

日本は飽食の時代と言われ続けていますが、全国的な統計でも年間子ども（小学生）一人あたりの給食の食べ残し量は約7kgと言われ、日本の食品ロスの大きな問題となっています。正に日本の豊かさを象徴するような現象の一つでもあると思いますが、西有家小では、学校全体の給食の食べ残しをなくすために、それぞれの子どもの嫌いなものや苦手なものがある場合は、最初から少な目にして完食を促しています。

学校教育と関連が深い「SDGs」の目標に関わるもので「食品ロスをなくす」という項目があります。給食が子どもたちの口の中に入るまでたくさんの人たちの苦労があることや飢餓に瀕している国があることも理解させたいものです。そして、食事の時にはいつも感謝の気持ちを込めて「いただきます」「ごちそうさま」が言える子どもを共に育てていきましょう。

市学力テストの結果

昨年の12月に実施した「市学力テスト」の結果が届きました。全学年がテストを受けましたので、2年生以上は、昨年度の学年全体の結果と比較することができます。その結果は、2年生以上の全ての学年で、昨年度の成績（標準スコア）を上回ることができていました。大変喜ばしいことです。後日、個人の成績表をお渡しいたしますので、親子で見ていただき、これからの学習の指針にしてほしいと思います。これからも学校の使命である「学力の定着」を図るべく、全職員で「分かる授業」に邁進していく所存です。子どもたちの学びのエネルギーを循環させるためにも家庭学習での励ましを引き続き、よろしくお願いします。



2月・3月の主な行事予定

2月 7日(水)全校朝会、委員会活動

2月 9日(金)新1年入学説明会

2月14日(水)代表委員会

2月16日(金)中学校入学説明会

2月20日(火)6年生を送る会

〃 社会体育連絡協議会

2月21日(水)クリーン作戦、クラブ活動

2月27日(火)授業参観・学級部会(5、6年)

2月29日(木)授業参観・学級部会(1年)

3月 1日(金)授業参観・学級部会(2、3、4年)

3月 5日(火)地区児童会

3月15日(金)卒業式予行練習(全学年5校時まで)

3月19日(火)卒業証書授与式

3月22日(金)修了式・離任式

※インフルエンザ等の感染状況により、変更や中止となる場合があります。

